「レセプトおよび DPC データを用いた循環器疾患における医療の質に関する研究」のお知らせ

全国の循環器疾患の診療実態を記述した統計はなく、その診療実態は不明な点が多いと考えられています。諸外国では定期的にデータを収集し、モニタリングを行うことで診療の質を向上させようとする試みがありますが、日本にはまだそのようなデータベースは存在しません。そこで、日本循環器学会では、全国的に循環器診療の実態調査を展開して診療実態を具体的な数で把握するためのデータベース構築として「循環器疾患診療実態調査（JROAD)」を行っており当院も参加しています。

＜研究対象＞
当院で 2017 年４月１日から 2018 年３月 31 日の期間に、循環器科で手術（カテーテル治療も含みます）を受けられた全患者さん

＜研究期間＞2030 年３月 31 日までを予定しています。

＜研究内容＞
年齢や性別、入院時診断名、入院時併存疾病名、入院後合併症名、手術処置名、実施日、使用された薬剤、医療材料、在院日数、退院時転帰、費用情報などを調べます。

＜研究代表者＞
京都府立医科大学・大学院医学研究科　循環器腎臓内科　教授　的場　聖明

研究で集めるデータには患者さんのお名前や住所など個人を特定する情報は含まれません。研究結果は，研究代表者に情報を提供します。また、学会や出版物として公表することがありますが、いかなる場合でも個人情報が漏れることはありません。プライバシーは守られます。　本研究は当院の倫理・臨床研究審査委員会で承認されています。

本研究の趣旨をご理解いただき本研究に参加をお願いします。もし参加を望まれない場合は研究から除外しますので担当医師にお申し出ください。研究が始まった後でも自由に参加を取りやめることができますのでその際も担当医師にお伝えください。ご協力いただけない場合でも、今後の診療に不利益はきたしません。また、ご質問がある場合も担当医師にお伝えください。ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

2020 年 12 月７日

京都桂病院　副院長・心臓血管センター所長　中村　茂